

フラットベッドスキャナユニット for DR-2580C

取扱説明書

このたびは、「フラットベッドスキャナユニット for DR-2580C」（以下、本ユニットと称します）をお買い求めいただきまことにありがとうございました。
本ユニットは、キヤノンドキュメントスキャナ DR-2580C 専用に開発されたフラットベッドスキャナユニットです。本ユニットの機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくためにご使用になる前に本書をよくお読みいただくとともに、お読みになった後はなくさないように「DR-2580C スタートアップマニュアル」といっしょに保管してください。

目次

取り扱いについて	3
仕様	4
同梱品の確認	4
各部の名称	5
DR-2580C の取り付け	6
DR-2580C の取り外し	8
フラットベッドの使用方法	9
清掃	10
保証とアフターサービス	11
修理受付窓口	12
サービス&サポートのご案内	13
保守サービスのご案内	14

■ご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■複製についてのご注意

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- ・ 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

■商標および登録商標について

- ・ ISIS は、Pixel Translation A Division of Captiva Software Corporation. の米国における商標です。
- ・ その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

■JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品に適合しています。

取り扱いについて



警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- 本ユニットを分解したり、改造しないでください。
- 本ユニットの近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 本ユニットの清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに DR スキャナを取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一本機が破損した場合は、直ちに DR スキャナを取り外し、お買い上げの販売店にご連絡ください。



注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本ユニットを壁に立て掛けたりしないでください。倒れて、故障の原因になります。
- 本ユニットのコネクタ部のピンや接点部分に直接手で触れないでください。故障の原因になります。
- フラットベットに厚い本などをセットしてスキャンするときは、フラットベッドカバーを上から強く押さえ付けしないでください。ガラスが破損して故障、けがの原因になります。
- フラットベットのガラスの上には、スキャンする原稿以外のものを乗せないでください。故障、けがの原因になります。
- 本ユニットの上にはものを載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になります。
- 接続は、必ずプラグを持って行なってください。コードを持って作業すると断線の原因になります。
- DR スキャナを本ユニットに取り付けた状態で移動するときは、DR スキャナに接続されているインタフェースケーブルや AC アダプタは、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷することがあります。
- 本ユニットを壁に立て掛けたりしないでください。倒れて、故障の原因になります。
- フェライトコアについて
本ユニットに取り付けられているフェライトコアは、電波障害規制適合に必要な部品です。フェライトコアは、取り外さないでください。

仕様

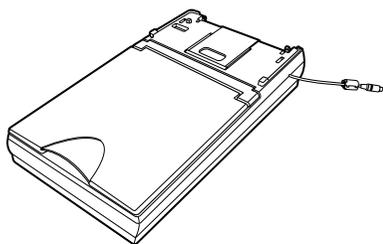
形式	フラットベッドスキャナ
原稿読み取り最大サイズ	216 (幅) x 297 (長さ) mm
読み取りセンサ	CCD (*)
光源	外部電極式希ガス蛍光ランプ (*)
光学解像度	600 dpi
外形寸法	82.5 (高さ) x 315 (幅) x 545 (奥行き) mm
(DR-2580C 取付時)	155 (高さ) x 315 (幅) x 545 (奥行き) mm
質量	約 1.8kg (DR-2580C 取付時 : 約 3.6kg)
電源	DR-2580C より供給

(*) 読み取りセンサおよび、光源は、DR-2580C 本体の読み取りセンサ (CIS)、光源 (LED) と異なるため、読み取った画像の色合いに若干の違いがあります。

製品改良のため、仕様は予告なく変更することがあります。

同梱品の確認

本製品にはフラットベッドスキャナ本体と、取扱説明書 (本書)、保証書が同梱されています。万一、不足品や損傷品がある場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。



フラットベッドスキャナユニット本体

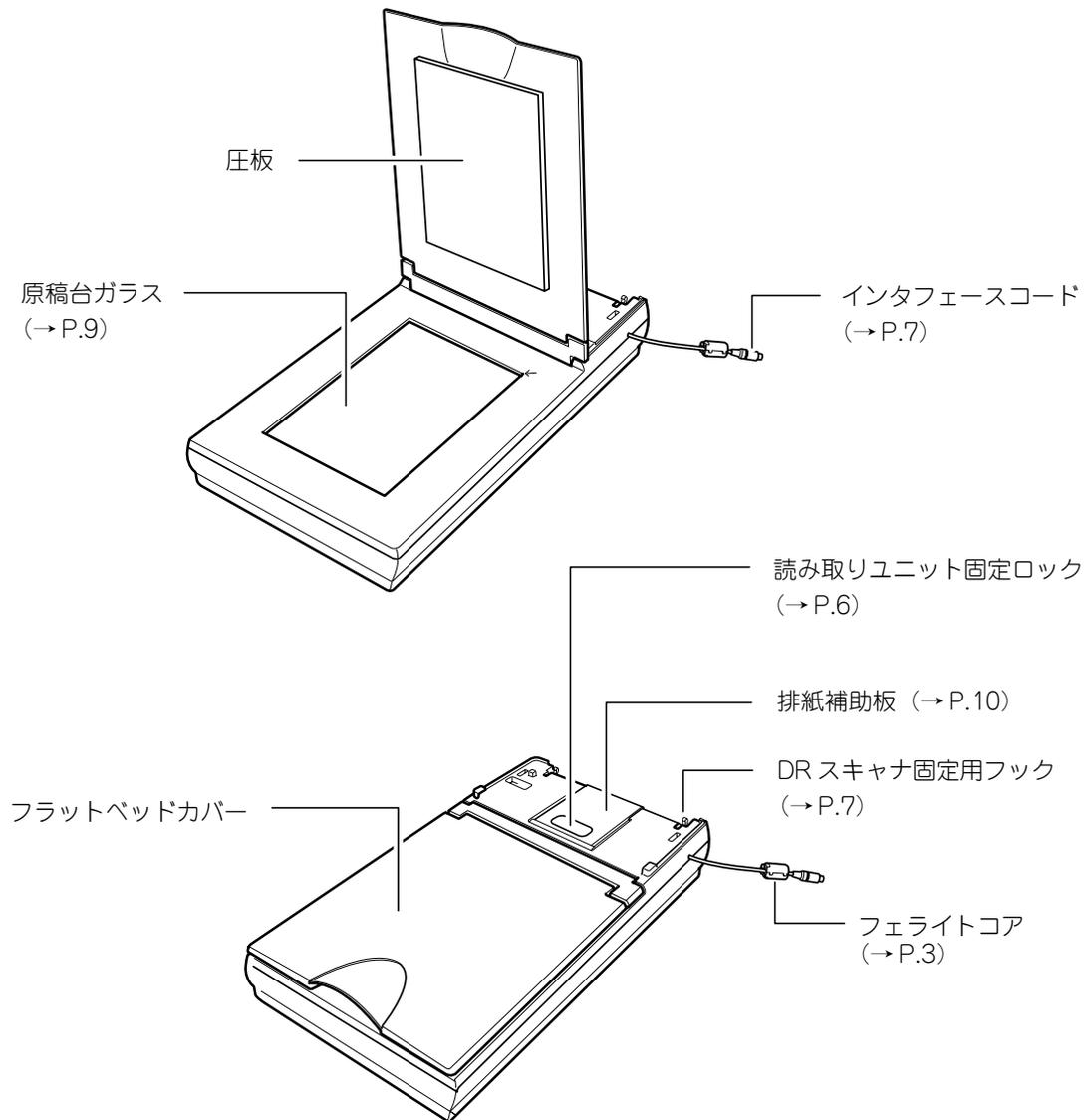
キュメントスキャナ DR-2580C を取り付けて使用します。フラットベッドスキャナユニット単体での使用はできません。

取扱説明書 (本書)

保証書

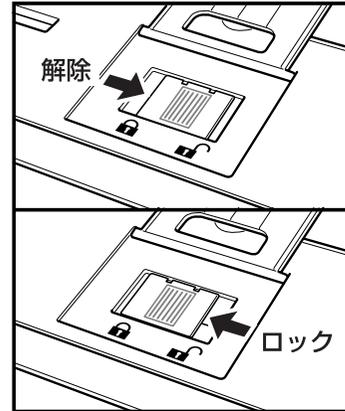
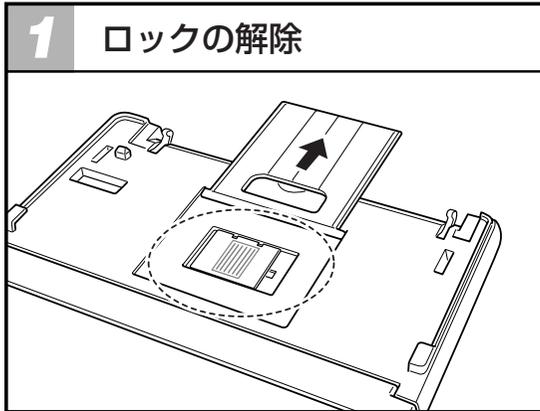
各部の名称

本ユニットの名称は以下の通りです。



DR-2580C の取り付け

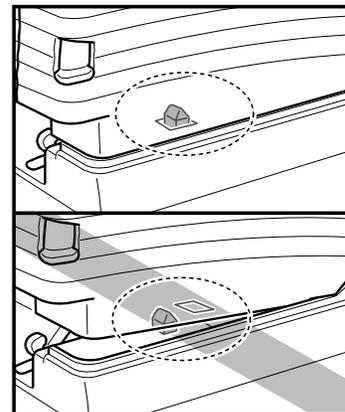
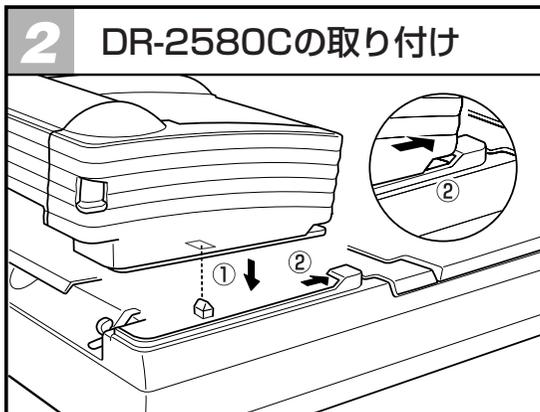
DR-2580C は、以下の手順で本ユニットに取り付けます。



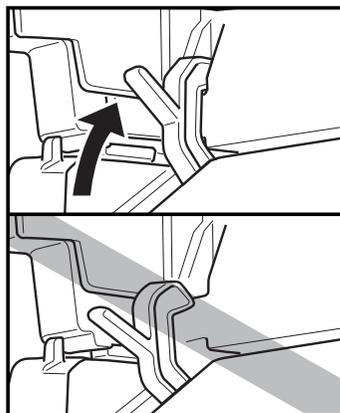
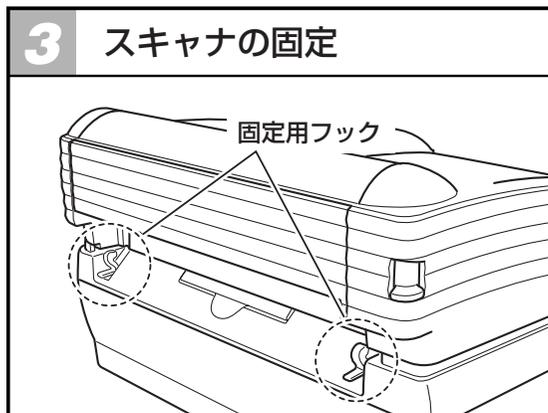
- 本ユニットの読み取りユニットは、運搬時に動かないようにロックされています。DR-2580C をセットする前に必ず読み取りユニットのロックを解除してください。

⚠ 注意

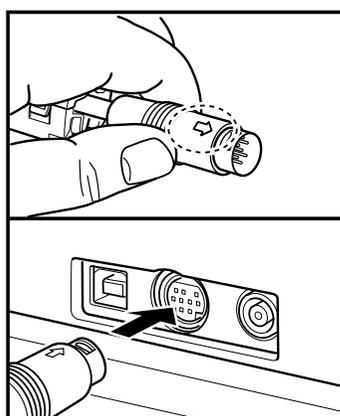
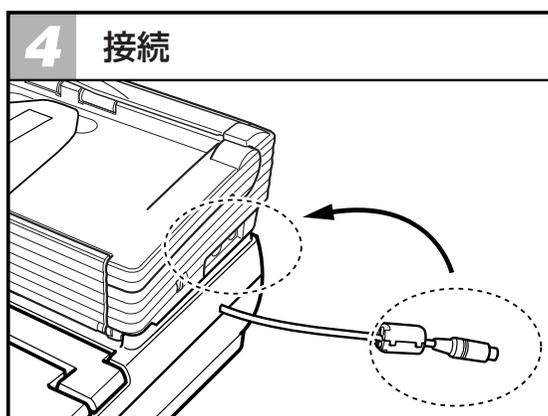
- 読み取りユニットのロックを解除しないで電源をオンにすると、本ユニットの故障の原因になります。
- 本ユニットのコネクタ部のピンや接点部分に直接手で触れないでください。故障の原因になります。
- 読み取りユニットをロックするときは、読み取りユニットが、原点（最後部）に戻っていることを確認してからロックしてください。



- 本ユニットの凸部が DR-2580C の下面にある穴に入るように DR-2580C をセットし (①)、DR-2580C を前方にスライドさせて取り付けます (②)。



- DR-2580C が浮いていないことを確認し、本ユニットの左右のフックで DR-2580C を固定します。フックが、完全に掛けられていることを確認してください。

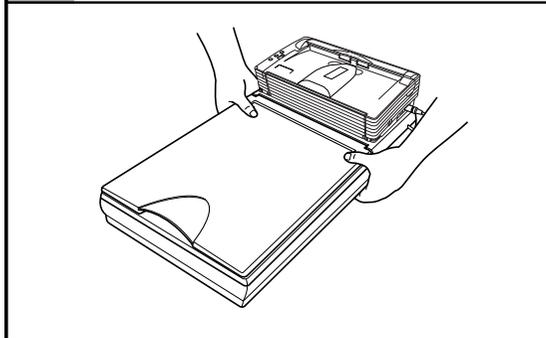


- プラグの矢印を上にして、コネクタの奥まで差し込みます。

⚠ 注意

- 接続は、必ずプラグを持って行ってください。コードを持って作業すると断線の原因になります。
- DR-2580C が正しく取り付けられていないとスキャナエラーになり、本ユニットおよび DR スキャナでの読み取ができなくなります。
- DR-2580C の電源がオンのときには、プラグの抜き差しや、固定用フックの操作は行なわないでください。本ユニットおよび DR-2580C の故障の原因になります。

5 スキャナの移動



- 本ユニットを移動するときは、落とさないように両手でしっかり持ってください。質量は、本ユニット単体で 1.8kg、DR-2580C を取り付けられた状態で約 3.6kg です。

警告

本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一本機が破損した場合は、直ちに DR-2580C を取り外し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

注意

- DR-2580C を本ユニットに取り付けた状態で移動する前に、DR-2580C が、フックで固定されていることを確認してください。フックが外れた状態で移動させると落下して破損する原因になります。
- DR-2580C を本ユニットに取り付けた状態で移動するときは、DR-2580C に接続されているインターフェースケーブルや AC アダプタは、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷することがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

DR-2580C の取り外し

DR-2580C を取り外すときは、固定用のフックを外した後、後部を持ち上げて取り外してください。

注意

DR-2580C を取り外した後、本ユニットを壁に立て掛けた状態で保管しないでください。倒れて、故障の原因になります。

フラットベッドの使用法

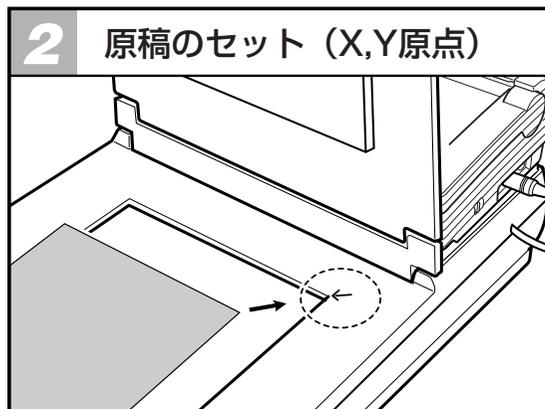
フラットベッドは、以下のようにご使用ください。



- フラットベッドスキャナを使用するときは、ISIS/TWAIN ドライバの [読み取り面] の設定を [フラットベッド] もしくは [自動] にします。ISIS/TWAIN ドライバの設定の詳細については ISIS/TWAIN ドライバのヘルプを参照してください。

⚠ 注意

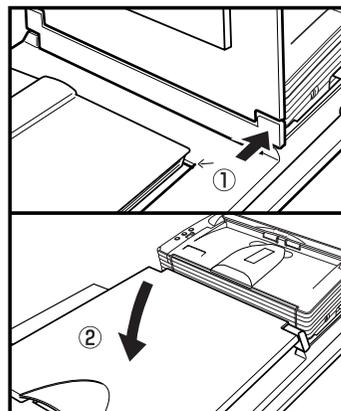
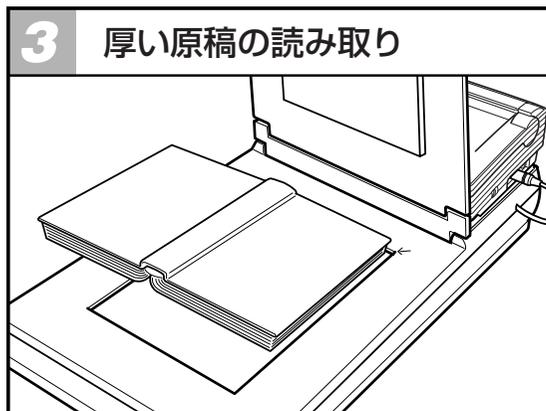
DR-2580C が正しく取り付けられていないとスキャンを開始した時にスキャナエラーになり、本ユニットおよび DR スキャナでの読み取ができなくなります。スキャンを開始する前に DR-2580C の取り付けを確認してください。



- 原稿台の右奥が X, Y 座標の原点 (0, 0) になります。

⚠ 注意

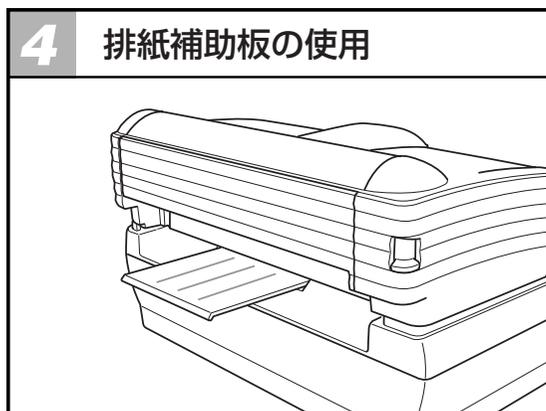
- 本ユニットフラットベッドのガラスの上には、スキャンする原稿以外のものを乗せないでください。故障、けがの原因になります。
- 本ユニットが動作時は、本ユニットに振動を与えないでください。読み取りエラーの原因になります。



- 本や厚い原稿などをスキャンするときは、フラットベッドカバーを開き、矢印部 (①) を押えながら、フラットベッドカバーを閉じます (②)。

! 注意

フラットベットに厚い本などをセットしてスキャンするときは、上から強く押さえ付けないでください。フラットベットのガラスが破損して故障、けがの原因になります。



- 本ユニットの後方にある排紙補助板は、DR スキャナのストレートパスでスキャンするときの補助として使用します。カードや小さい原稿をストレートパスで排紙するときに排紙補助板を引き出して、排紙された原稿が散乱するのを防ぎます。

清掃

本ユニットを清掃するときは、水を含ませて固くしぼった布で本体の汚れを清掃し、原稿台ガラスは水を含ませて固くしぼったきれいな布で拭いてください。

! 警告

原稿台ガラスを清掃するときは、力を加えないで拭いてください。ガラスが破損して故障、けがの原因になります。

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または次ページに記載されているサービス窓口へご相談ください。

■修理を依頼される前に

「DR-2580C スタートアップマニュアル」87ページの「困ったときは」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

サービス&サポートのご案内

● お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター  **050-555-90072**
全国共通電話番号

受付時間： <平日> 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(土日祝日と年末年始、弊社休業日は休まさせていただきます。)

※ 上記番号は050から始まるIP電話（株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー（NTT-ME）のXePhion Call Direct）を利用しています。

NTTの固定電話（一般回線）から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金（10.4円／3分）でご利用になれます。

※ 携帯電話・PHSをご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部のPHSからはご利用いただけませんのでご了承ください。

※ お客さまが050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP電話からのご利用は、IP電話事業者間の接続状況によります。NTT-MEのXePhion Call Directの上記番号との通話（接続）可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。IP電話からつながらない場合の事象（話中音、アナウンス、ブザー音など）はプロバイダーによって異なります。

また、IP電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、**043-211-9156** におかけくださいますようお願いいたします。

※ お客様相談センターの詳細につきましてはキャノンホームページ (<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>) をご参照ください、

● キャノンホームページ <http://canon.jp/>

※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ 通信料はお客様のご負担になります。

保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



■ 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

キヤノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

※天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。

※消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

ご購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

なお、フラットベッドユニット単体での保守契約は行なっておりません。必ず、ドキュメントスキャナ DR-2580C とセットでの保守契約に加入をお願いします。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いします。

Canon

キヤノン販売株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-2 太陽生命品川ビル



CE-IJ-472

PUB.CE-IJ-472

0405CEXX

© CANON ELECTRONICS INC. 2005

PRINTED IN JAPAN